

平成 30 年度

第 5 回青少年意見募集事業結果

テーマ

「子どもの人権 SOS ミニレター」について

(提案元：法務省)

意見受付期間

平成 31 年 1 月 7 日 (月) ~ 1 月 27 日 (日)

平成 31 年 2 月

主に自由回答形式の質問に対する回答を、回答の要点ごとに分析して集計し、分類ごとに主な意見を掲載している。意見の掲載に当たっては、必要に応じ、要約している。

第 5 回 「子どもの人権 SOS ミニレター」について（法務省）

1. 設問

- 質問 1 SOS ミニレターを知っていましたか。
- 質問 2 SOS ミニレターの見本をご覧ください。SOS ミニレターのデザインについて、改善すべき点があると思いますか。
- 質問 2 - 1 （改善すべき点があると回答された方）具体的にどのような改善が必要と考えますか。
- 質問 3 - 1 現在、SOS ミニレターは小学生・中学生に配っていますが、高校生に対しても SOS ミニレターを配布すべきと思いますか。
- 質問 3 - 2 上記を選択した理由を教えてください。
- 質問 4 現在、SOS ミニレターは学校を通じて全ての小学生・中学生に配っています。子供たちが SOS ミニレターをより利用しやすくするために、小学校・中学校以外の場所に SOS ミニレターを備え付けるとした場合、どのような場所に備え付けるのがよいと思いますか（図書館、児童館等）。
- 質問 5 法務局に人権相談窓口があることを知っていましたか。
- 質問 6 - 1 小学生・中学生が悩みごとを相談するとしたら、どのようなツールによる相談が利用しやすいと思いますか。
- （その他と回答された方）具体的にどのようなツールによる相談が利用しやすいと思いますか。
- 質問 6 - 2 上記を選択された理由を教えてください。
- 質問 7 小学生・中学生に対して、法務局に人権相談窓口があることを広く知らせるためには、どのような方法が有効であると思いますか。
- （その他と回答された方）具体的にどのような方法がよいか教えてください。

3 平成 30 年度 第 5 回青少年意見募集事業結果

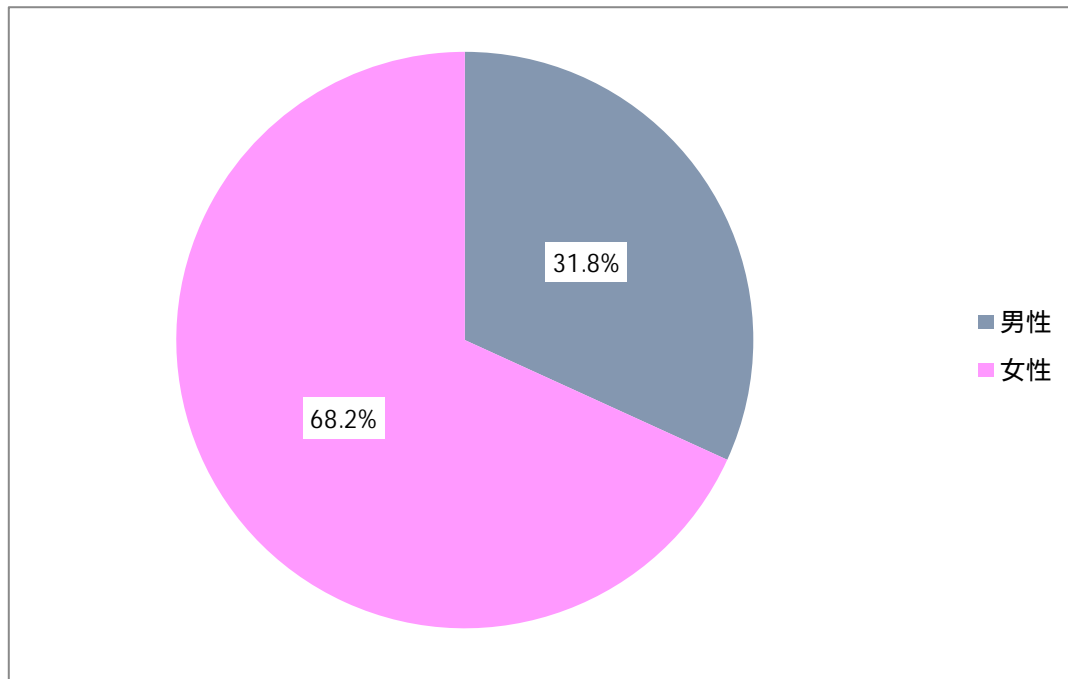
2 . 意見受付期間

1月7日(月)~1月27日(日)

3 . 回答者数・回答属性

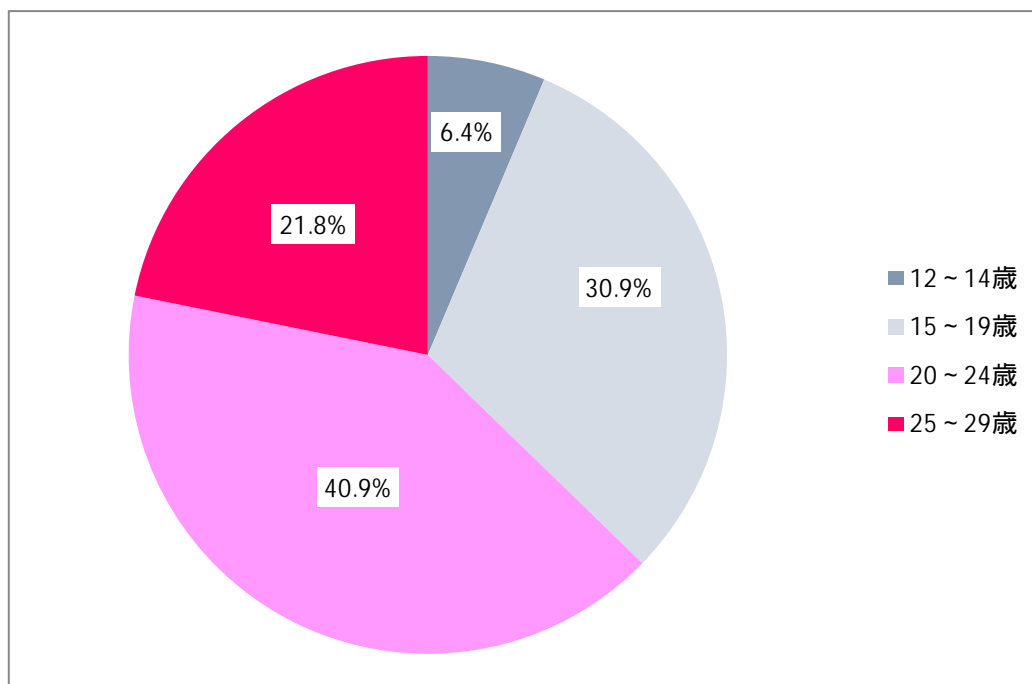
【回答者数】 男性：35名 女性：75名 合計：110名 (配信数：262名、回答率：42.0%)

【性別】 男性が31.8%、女性が68.2%であった。

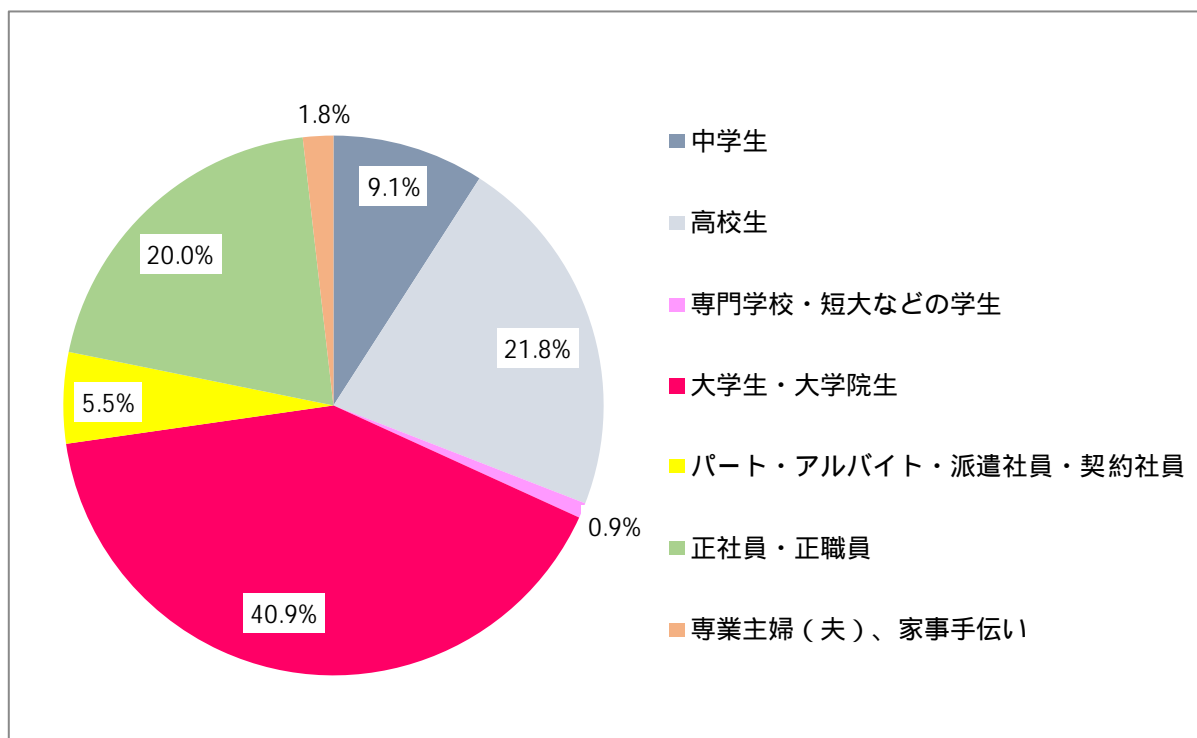


4 平成30年度 第5回青少年意見募集事業結果

【年齢】 12～14歳が6.4%、15～19歳が30.9%、20～24歳が40.9%、25～29歳が21.8%であった。

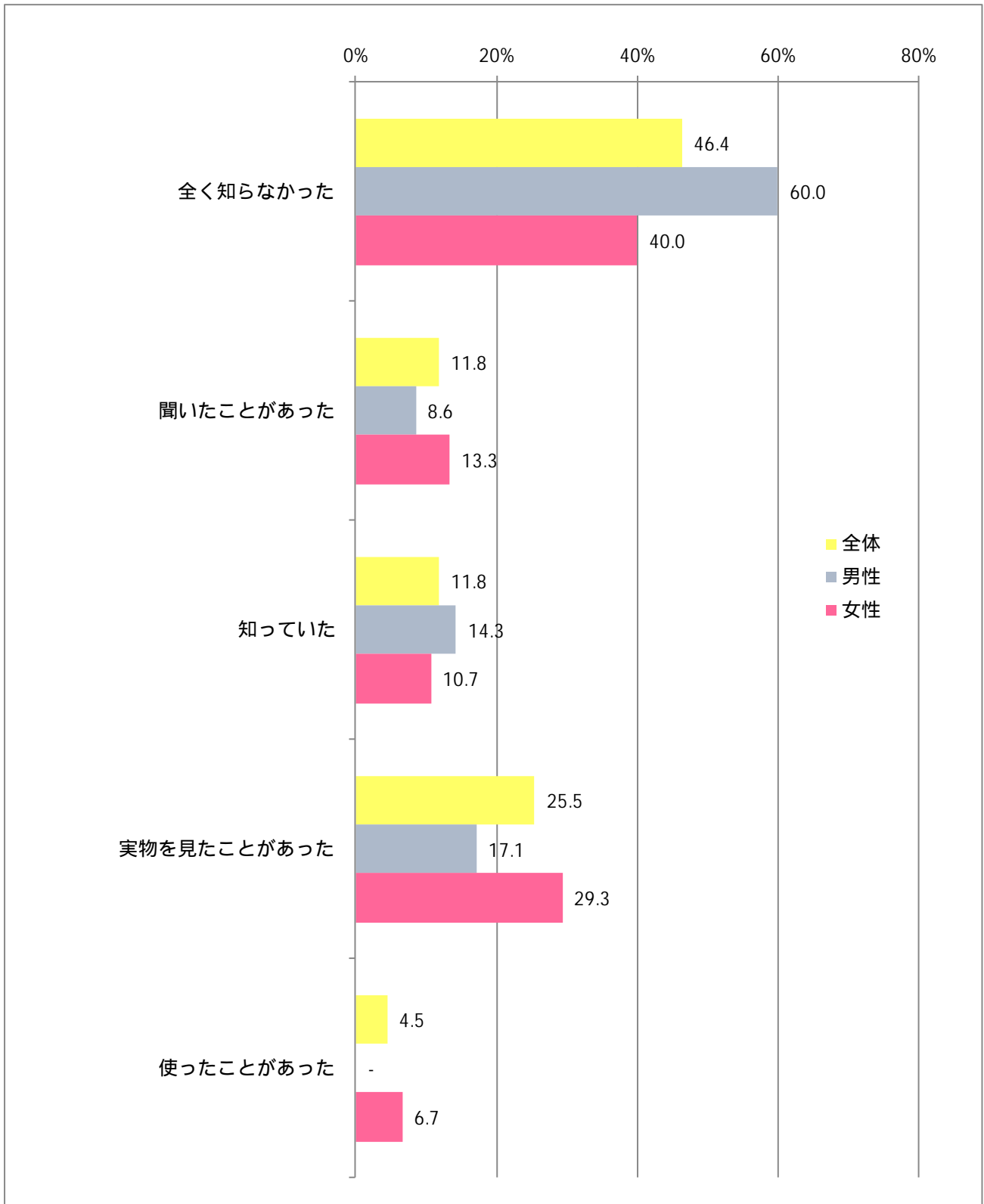


【職業】 中学生が9.1%、高校生が21.8%、専門学校・短大などの学生が0.9%、大学生・大学院生が40.9%、パート・アルバイト・派遣社員・契約社員が5.5%、正社員・正職員が20.0%、専業主婦(夫)・家事手伝いが1.8%であった。



4 . 集計結果

質問 1 SOSミニレターを知っていましたか。



6 平成30年度 第5回青少年意見募集事業結果

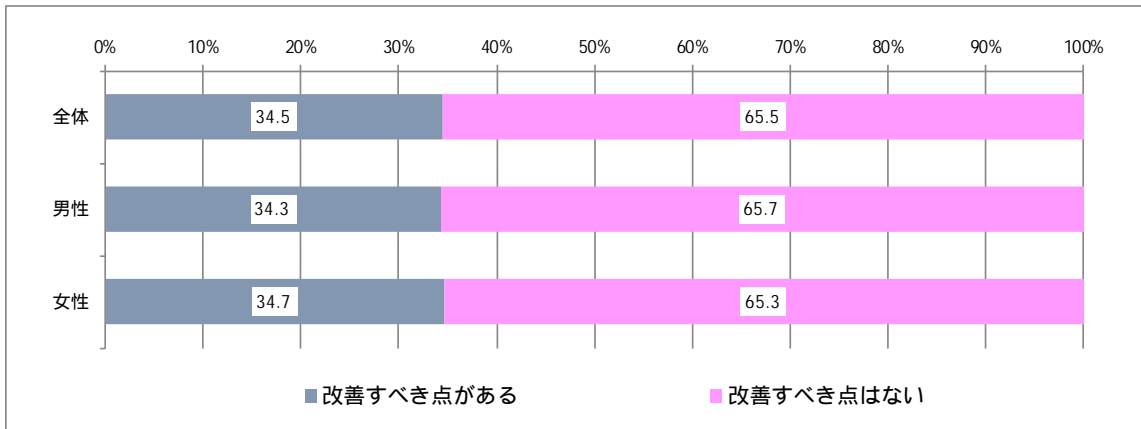
上段：人数 下段：%		全 体	全 く 知 ら な か つ た	聞 い た こ と が あ つ た	知 っ て い た	実 物 を 見 た こ と が あ つ た	使 っ た こ と が あ つ た
全体		110 100.0	51 46.4	13 11.8	13 11.8	28 25.5	5 4.5
性別	男性	35 100.0	21 60.0	3 8.6	5 14.3	6 17.1	-
	女性	75 100.0	30 40.0	10 13.3	8 10.7	22 29.3	5 6.7
年齢	12～14歳	7 100.0	-	-	1 14.3	5 71.4	1 14.3
	15～19歳	34 100.0	8 23.5	3 8.8	5 14.7	15 44.1	3 8.8
	20～24歳	45 100.0	22 48.9	9 20.0	5 11.1	8 17.8	1 2.2
	25～29歳	24 100.0	21 87.5	1 4.2	2 8.3	-	-
性別×年齢	男性-12～14歳	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-
	男性-15～19歳	10 100.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	4 40.0	-
	男性-20～24歳	12 100.0	8 66.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	-
	男性-25～29歳	12 100.0	10 83.3	-	2 16.7	-	-
	女性-12～14歳	6 100.0	-	-	1 16.7	4 66.7	1 16.7
	女性-15～19歳	24 100.0	5 20.8	1 4.2	4 16.7	11 45.8	3 12.5
	女性-20～24歳	33 100.0	14 42.4	8 24.2	3 9.1	7 21.2	1 3.0
	女性-25～29歳	12 100.0	11 91.7	1 8.3	-	-	-
属性	中学生	10 100.0	1 10.0	-	2 20.0	6 60.0	1 10.0
	高校生	24 100.0	5 20.8	3 12.5	3 12.5	10 41.7	3 12.5
	専門学校・短大などの学生	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-
	大学生・大学院生	45 100.0	23 51.1	8 17.8	5 11.1	8 17.8	1 2.2
	パート・アルバイト・派遣社員・ 契約社員	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-
	正社員・正職員	22 100.0	17 77.3	1 4.5	2 9.1	2 9.1	-
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-
	無業者	-	-	-	-	-	-

全体で見ると、46.4%が「全く知らなかった」、次いで25.5%が「実物を見たことがあった」と回答した。

年代別で見ると、年代が上がるにつれて、「全く知らなかった」と回答した割合が高くなった。

男女別で見ると、男性より女性の方が「実物を見たことがあった」と回答した割合は高かった。

質問2 SOSミニレターの見本をご覧ください。SOSミニレターのデザインについて、改善すべき点があると思いますか。



上段：人数 下段：%		全 体	改 善 す べ き 点 が あ る	改 善 す べ き 点 は な い
全体	110	100.0	38 34.5	72 65.5
性別	男性	35	12 34.3	23 65.7
	女性	75	26 34.7	49 65.3
年齢	12～14歳	7	-	7
	15～19歳	34	9 26.5	25 73.5
	20～24歳	45	18 40.0	27 60.0
	25～29歳	24	11 45.8	13 54.2
性別×年齢	男性-12～14歳	1	-	1
	男性-15～19歳	10	2 20.0	8 80.0
	男性-20～24歳	12	4 33.3	8 66.7
	男性-25～29歳	12	6 50.0	6 50.0
	女性-12～14歳	6	-	6
	女性-15～19歳	24	7 29.2	17 70.8
	女性-20～24歳	33	14 42.4	19 57.6
	女性-25～29歳	12	5 41.7	7 58.3
属性	中学生	10	1 10.0	9 90.0
	高校生	24	8 33.3	16 66.7
	専門学校・短大などの学生	1	-	1
	大学生・大学院生	45	14 31.1	31 68.9
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	6	3 50.0	3 50.0
	正社員・正職員	22	12 54.5	10 45.5
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2	-	2
	無業者	-	-	-

全体で見ると、34.5%が「改善すべき点がある」、65.5%が「改善すべき点はない」と回答した。年代別で見ると、年代が上がるにつれて、「改善すべき点がある」と回答した割合が高くなった。男女別では、男女間に大きな差は見られなかった。

小学生用（表面）



小学生用（裏面）



中学生用（表面）



中学生用（裏面）



（改善すべき点があると回答された方）

具体的にどのような改善が必要と考えますか。

デザイン、キャラクターの改善

- ① デザインがあまりおしゃれではなく、端的にいうとダサい感じがします。文字もごちゃごちゃと多いイメージです。キャラクターの印象も古いので、すべて一新してモダンなデザインにしたほうが分かりやすく、手に取ってもらいやすいと思います。（女性 / 24歳 / 正社員・正職員）
- ② 明るいイメージを打ち出しているが、少々可愛すぎるような気がする。もっとシンプルでもよいのでは。（女性 / 24歳 / 正社員・正職員）
- ③ 中学生用の用紙は少し子供向けの印象がする。あとカラフルが目立つと少し恥ずかしい気がします。（女性 / 16歳 / 高校生）
- ④ キャラクターデザインをされた方のサインが一見分かりづらいと感じました。特に小学生用は全体的に情報量が多く、どこを見れば良いか迷いました。（女性 / 27歳 / 正社員・正職員）
- ⑤ 小学生用と中学生用あまり大きい差がないと思う。小学生ならかわいらしくキャラクターとかがいた方が相談しやすいというイメージもあるが、中学生であればもう少しシンプルでいいと思う。また、文章を書かなければいけないイメージがあるが、もしかしたら絵などが描けた方が表現方法としてし

やすいこともあるかもしれない。そのため、見本として宛先などはあってもいいが、線を示す必要性がないと考える。いろんなことがたくさん書いてあって分かりにくいいため、相談していいことを大きく書いて、方法などを裏にするなど、1 ページにおける量を減らした方がいいと考える。(女性 / 18 歳 / 高校生)

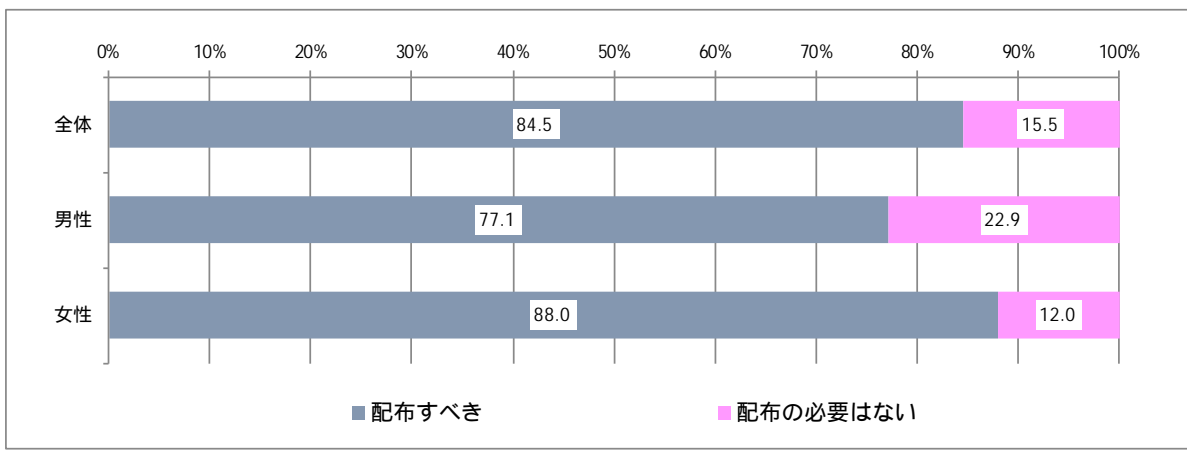
連絡手段の改善

- z 個人で相談することができるメールアドレスが存在していないことは小学生や中学生が利用する上で不便に感じると考えられる。また、時期と期間を特定するために期間を別枠に設けることで、深刻さをより明確に相談する相手に伝えることができ、柔軟な相談が可能になると言える。(男性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 細かいので作成して送るという気があまり起きなさそう。(女性 / 24 歳 / 大学生・大学院生)
- z 返事が手紙と電話となっていますが、この手紙を出す時点で緊急性を要する場合がありますので、携帯のメールだったり、地元のコミュニティセンター、民間・公的施設なども選択肢に在ればいいと思います。自宅でも学校でも話せない、知られたら困る・知らせたくない場合も考えてもらいたいです。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 切って貼るという作業が手間のかかるもののように感じてしまう。(女性 / 17 歳 / 高校生)

内容、メッセージの改善

- z 小学生用はルビがふってあるけど、なんとなく高学年用に思える。もう少しひらがなを使って低学年でも抵抗なく見てもらえるものにすればいいのと思う。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z パツと見がごちゃごちゃしていて、読みたいと思わなかった。パツと見たときに、どうしたらいいのかが分かるようにデザインを変えた方がいいのではないかと思います。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 外国から来た子供たちや帰国子女の子供たちも読めるようにするために、多言語対応が望ましいと考えています。(男性 / 18 歳 / 高校生)
- z 小・中学校で何度か配られたことがあったが、何について使えるのかが分かりにくかった。「人権」という言葉が多用されているが、何が人権問題なのか、「何でも」とは言っても本当に何でも良いのか、分かりにくくて利用をためらってしまう。「人権」という言葉は、法務局の政策としては重要なキーワードだが、当の子供にとっては、それが指す内容の方が大切なはず。その点の説明がもう少し親切であると良いと思う。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 表面の情報量が多すぎるように感じる。より重要な部分だけ取捨選択して、読みやすくしたほうが良いと思う。裏面は端的すぎて、書き出しづらいように思う。書きやすくするヒントのようなものがあると良いと思う。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 相談してみた人のコメントを読むと、なんだか漠然としていて、本当に助けてもらえるのか不安になる。具体的な悩み解決の例を見たいと思う。(女性 / 25 歳 / 大学生・大学院生)
- z 小学生にはどれくらいその悩みが辛いのか今まで経験したことがないなどと記号で分かるようにする。(女性 / 16 歳 / 高校生)

質問3 - 1 現在，SOSミニレターは小学生・中学生に配っていますが，高校生に対してもSOSミニレターを配布すべきと思いますか。



上段：人数 下段：%		全 体	配 布 す べ き	配 布 の 必 要 は な い
全体	110 100.0	93 84.5	17 15.5	
性別	男性	35 100.0	27 77.1	8 22.9
	女性	75 100.0	66 88.0	9 12.0
年齢	12～14歳	7 100.0	7 100.0	-
	15～19歳	34 100.0	28 82.4	6 17.6
	20～24歳	45 100.0	37 82.2	8 17.8
	25～29歳	24 100.0	21 87.5	3 12.5
性別×年齢	男性-12～14歳	1 100.0	1 100.0	-
	男性-15～19歳	10 100.0	7 70.0	3 30.0
	男性-20～24歳	12 100.0	9 75.0	3 25.0
	男性-25～29歳	12 100.0	10 83.3	2 16.7
	女性-12～14歳	6 100.0	6 100.0	-
	女性-15～19歳	24 100.0	21 87.5	3 12.5
	女性-20～24歳	33 100.0	28 84.8	5 15.2
	女性-25～29歳	12 100.0	11 91.7	1 8.3
属性	中学生	10 100.0	10 100.0	-
	高校生	24 100.0	19 79.2	5 20.8
	専門学校・短大などの学生	1 100.0	1 100.0	-
	大学生・大学院生	45 100.0	35 77.8	10 22.2
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	6 100.0	6 100.0	-
	正社員・正職員	22 100.0	20 90.9	2 9.1
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2 100.0	2 100.0	-
	無業者	-	-	-

全体で見ると、84.5%が「配布すべき」、15.5%が「配布の必要はない」と回答した。
 年代別で見ると、全ての年代で「配布すべき」と回答した割合が8割以上だった。
 男女別で見ると、男性より女性の方が「配布すべき」と回答した割合は高い。

質問 3 - 2 上記を選択した理由を教えてください。

(配布すべきと回答された方)

高校生でも人間関係やいじめ等の悩みを抱えている

- z 高校生でも、家族や友人関係、進路等の悩みの種は多いと考えるから。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z むしろ高校生のほうが色々悩みが多いような気がします。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 小・中学生だけでなく、高校生も学業や家庭、友達関係についての悩みを抱えていることは容易に考えられるので、彼らが悩みを打ち明ける機会を増やすことは重要であるとする。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 小学生や中学生よりも、高校生の方がいじめや体罰などで苦しんでいる人が多いように感じるから。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 高校生でも、様々な悩みを抱えている人はいると思うから。(男性 / 17 歳 / 高校生)
- z 悩んでいるのは高校生も同じで、より相談しにくい事柄もあると思うからです。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 高校生でも自ら言い出せる人は少ないと思うから。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 高校生でも人に言えないくらい追い詰められることもあるかもしれないから。また口で言うより書く方が人に伝えやすい。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z ひとりで悩んで苦しんでいる人が、思いを吐き出せる方法として必要だから。(女性 / 13 歳 / 中学生)
- z 高校生は勉強も忙しくなるし、恋や友達についての悩みがありそうだから、配ったら使用する人もいないかもしれないと思ったから。(女性 / 14 歳 / 中学生)
- z 高校生も、将来の進路に悩む子供がいそう。配布ではなく、廊下などに置いて自由に持っていける状況にした方が良いと思う。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)

進路、恋愛など友達や家族に相談できない悩みがある

- z 高校生では進路の話、部活の話、男女関係などたくさん問題があるように感じる。ふとした時に死にたいなって思うこともたくさんあるし、親にも相談できないような、妊娠したとかしたらどうしようとかそういうことを考える人もたくさんいると思う。また片親等、親が忙しくなかなか構ってもらえない子供たちも多く、経験上そのような子供たちは見た目が派手であったりなど特徴があるように感じる。その時何かを起こして親が知らなかったでは済まされない場合もあると思うので、高校生までは配布をした方がいいと思う。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 進学で悩みが無くなる事はまずないため。友達や家族に相談できない内容の悩みを抱えていたため、事件に発展した旨の報道が散見され、日常的と考えられる。(男性 / 23 歳 / 正社員・正職員)

高校生とはいえ、子供だから

- z 高校生でもまだ子供の部分が多く、このような活用法も役に立つと思うから。(女性 / 28 歳 / パート・

アルバイト・派遣社員・契約社員)

- z 成人、あるいは選挙権のない高校 2 年生の年齢までは子供として大人が守ってやりたいから。(女性 / 22 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 多感な時期であり、特に、15 歳の中学 3 年生と 16 歳の高校 1 年生では、年齢による差はほぼないと考えられるから。(男性 / 27 歳 / 正社員・正職員)

相談窓口は多数あったほうが良い

- z 高校生の多くは携帯電話を持っており、インターネット等で相談することもできるが、そもそも相談できる場所があることを知らなければいけないので、みんなに知ってもらえるように紙で配ってもよいのではないかと思う。また携帯電話を持っていない高校生にとっても相談先ができて良いと思う。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 相談できる手段がたくさんあった方がよい。(女性 / 22 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 小・中学生と高校生で悩んでいるのは変わらないので、高校生にとってもひとつでも解決へのアプローチが多い方がよいと思う。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z ひとりでも活用できる人がいるのなら、その意味があると思うから。(男性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 高校生の 1 人でも SOS ミニレターを必要としている人はいると思うから。(女性 / 14 歳 / 中学生)

配布すれば、活用される

- z 特に高校生用を作れとは言わないが、あれば活用する方はいると思う。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 学校に配布すれば必ず一度はパンフレットを読むから。また、知人がまもるくんとあゆみちゃんのストラップをつけていて、話を聞いたところ小学校のときに配られてずっとつけていると話していたので効果があると思った。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 見たことがあるだけでも配布される理由があると思う。(女性 / 15 歳 / 中学生)

(配布の必要はないと回答された方)

高校生は自分で解決できる

- z 高校生にもなれば自分でどうすべきなのか調べたり、相談することができる。全員に配布しても、しなくとも結果は変わらないと思うため。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 多くの高校生がスマホやタブレットを持ち、SNS などを利用して日々の悩みを吐き出しているから。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z SOS の際には、然るべき連絡先へとたどり着く能力がある場合が多いから。(男性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)

手紙より SNS が実用的

- z 年齢に関係なく SOS ミニレターを使う機会は設ければいいと思うが、高校生はなかなか使わなそう。メールや SNS 等、オンラインでできればよりいいと思う。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 高校生になると、わざわざ手紙を書く人はいないと思う。また、スマートフォンを持つ人が増えてきているので、電子メールや SNS などが良いと思う。(男性 / 17 歳 / 高校生)
- z 高校生にとってはメールやチャットなどの方が使いやすいので、SOS ミニレターを使わないと思う。(女性 / 18 歳 / 高校生)

設置型で対応する

- z 高校生になると、配布資料を読む人は基本的にあまりいなくなると思うので全員に配布する必要はないと思います。トイレとかそういうところに何部か置いて、ほしい人がもらうような形のほうがいいと思います。全員に配るのは資源がもったいないような気がします。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 義務教育ではないので、配布の必要はない。学校の受付などに置いておくことで対応すれば良いと思う。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

その他

- z 似たようなものは高校でも配られており、小学校、中学校に対象を絞ることでより細かく対応出来るのでは。(男性 / 18 歳 / 高校生)
- z 高校生の抱える不安は、先生が出てきても解決できない複雑な不安。結局、たらい回しにされそう。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

質問 4 現在，SOSミニレターは学校を通じて全ての小学生・中学生に配っています。子供たちがSOSミニレターをより利用しやすくするために，小学校・中学校以外の場所にSOSミニレターを備え付けるとした場合，どのような場所に備え付けるのがよいと思いますか（図書館，児童館等）。（自由記述）

図書館など

- ① 子供が行きやすい場所として、図書館や博物館などの施設が良いと思う。（女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生）
- ② 多くの場所でミニレターを得ることができ、かつ周りの人から見られずに得られる場所。図書館など。（女性 / 17 歳 / 高校生）
- ③ 図書館に備え付けたほうが良いと思います。悩んでいる子供たちは、周りの人からの視線を感じている人が多いと思うので、静かで友達とはあまり行かないような場所に備え付けることで、手紙を書きやすくなると思うからです。（女性 / 16 歳 / 高校生）
- ④ 私も実際に中学でこれを配布してもらい、カードの部分を切り取って持っていました。学校であれば、生徒のもとに渡るという保証があるためいいと思う。しかし、他の場所では実際に必要とされているのもとに渡ることの保証がない。そのため、無駄になってしまう可能性もある。しかし、図書館など多くの学生が利用することが分かっている場所であれば、効果的なのではないだろうか。（女性 / 18 歳 / 高校生）

コンビニエンスストア・ファーストフード店など

- ① コンビニエンスストアや図書館などの立ち寄りやすい場所。（女性 / 17 歳 / 高校生）
- ② コンビニエンスストア、ファーストフード店など中学生や高校生が親ではなく友達同士で出かける場、手に取りやすい場に設置したらどうかと思います。図書館といっても自習室やティーンズコーナーなどの設置が良いと思います。（女性 / 13 歳 / 中学生）
- ③ コンビニエンスストア、ショッピングモール、ゲームセンター、子供が日常生活でよく訪れる場所。（男性 / 29 歳 / 正社員・正職員）
- ④ 書店、文房具店、コンビニエンスストアなど生活の中で対象の学生が接点が多そうな場所。（女性 / 28 歳 / 正社員・正職員）

児童館・学童など

- ① 児童館など放課後に子供たちが過ごす場所。特に、親が仕事でいない家庭の子供が過ごす場所に置くべきだと考えられます。（女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生）
- ② 学童、公民館など。児童虐待の事件もあるので、保育所や幼稚園にも置くべきだと思います。（男性 / 17 歳 / 高校生）

各家庭に直接配布

- ① 各家庭に配布するのもいいと思います。新聞チラシのように、折り込みなどで配ってあげればより子

供の目につきやすく、家ですぐ手元にミニレターがあれば書いてみようかなって言う気持ちになると
思います。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

z 学習塾などが考えられるが、ひきこもりの子も想定されるため、特定の場所に備え付けるのではなく、
家庭に届けられるようにしてはどうかと思う。(男性 / 27 歳 / 正社員・正職員)

大型商業施設

z 大型商業施設や、ファミリーレストラン、ゲームセンターなど。個人的な経験では、家や学校に居場
所のない小・中学校の同級生の多くは、そのような場所に集まる傾向があったため。(女性 / 22 歳 /
大学生・大学院生)

z 郊外におけるショッピングセンターなどは、小・中学生の利用が多い場所と感じる。(男性 / 23 歳 /
大学生・大学院生)

塾など

z 塾、習い事を行っている教室。小・中学生がよく利用する店や施設の店頭。(女性 / 14 歳 / 中学生)

z 児童館や塾、習い事の場所など、多くの生徒が訪れる場所に設置すべきだと思う。(女性 / 20 歳 / 大
学生・大学院生)

トイレの個室

z トイレ。落ち込むと、行きたくなるのは、1人になれる空間だから。(男性 / 24 歳 / 正社員・正職員)

駅や公共交通機関内

z 公共交通機関(電車やバス)の車内広告。(男性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)

z 図書館や駅とかに置けば手に取りやすいと思う。(女性 / 16 歳 / 高校生)

公民館などの公共施設

z 都会であれば公共施設に設置すれば良いが、田舎は最寄りの公共施設まで遠いので、公民館などが良
い。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

z 現物を置くとなると、子供が利用する公共施設。(青少年センター、図書館、公民館)や病院。事業の
周知とあわせて、表面にあるような電話やメールもできることを知らせるステッカーなどであれば、
商業施設のトイレ個室。また、バナーでLINEやゲームアプリに貼るのはどうか。(男性 / 28 歳
/ 正社員・正職員)

交番、子ども 110 番の家

z 交番や子どもの 110 番の家のような助けを求められるような場所や図書館やバスの中などの身近な場
所が良いと思います。(男性 / 26 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

公園、駄菓子屋など

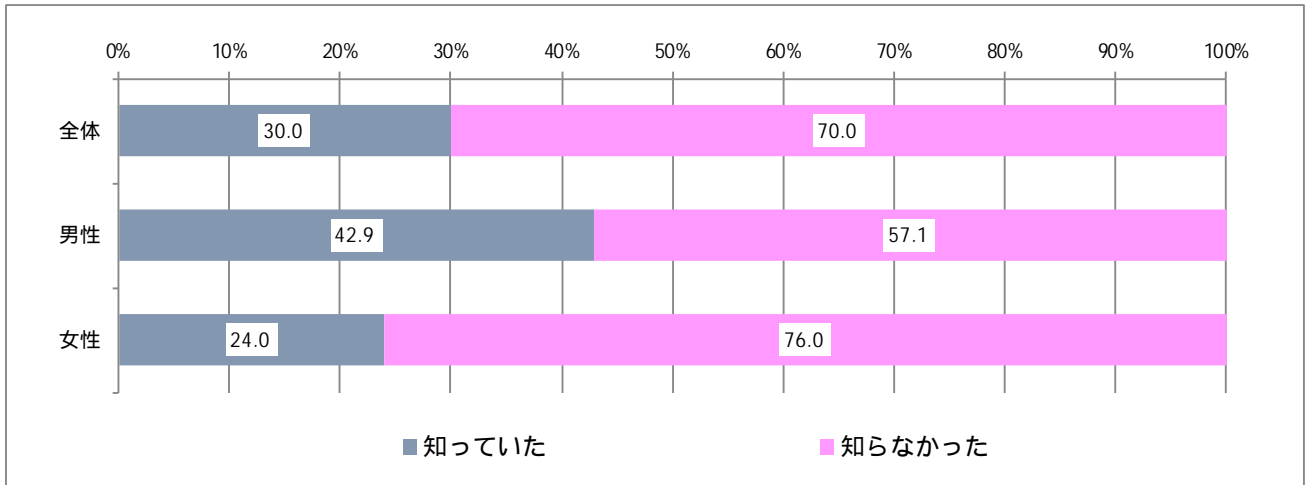
z 公園、駄菓子屋など。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)

- z 学童保育などの小学生が日頃行く場所で、目にして友達や周りの大人と「これどんなやつなんだろう」と話し合える場があることがいいと思う。許可をもらって塾やお菓子屋さん本屋さんなど目につく場所にも貼ることが大事かと思う。(女性 / 17 歳 / 高校生)

教室内や保健室

- z 保健室やカウンセリングルームなどあまり人の出入りが激しくない、静かな場所。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 教室に備え付ける。保健室に備え付ける。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 学校ならば、保健室だが、一般となると病院や、図書館。(女性 / 20 歳 / 専門学校・短大などの学生)

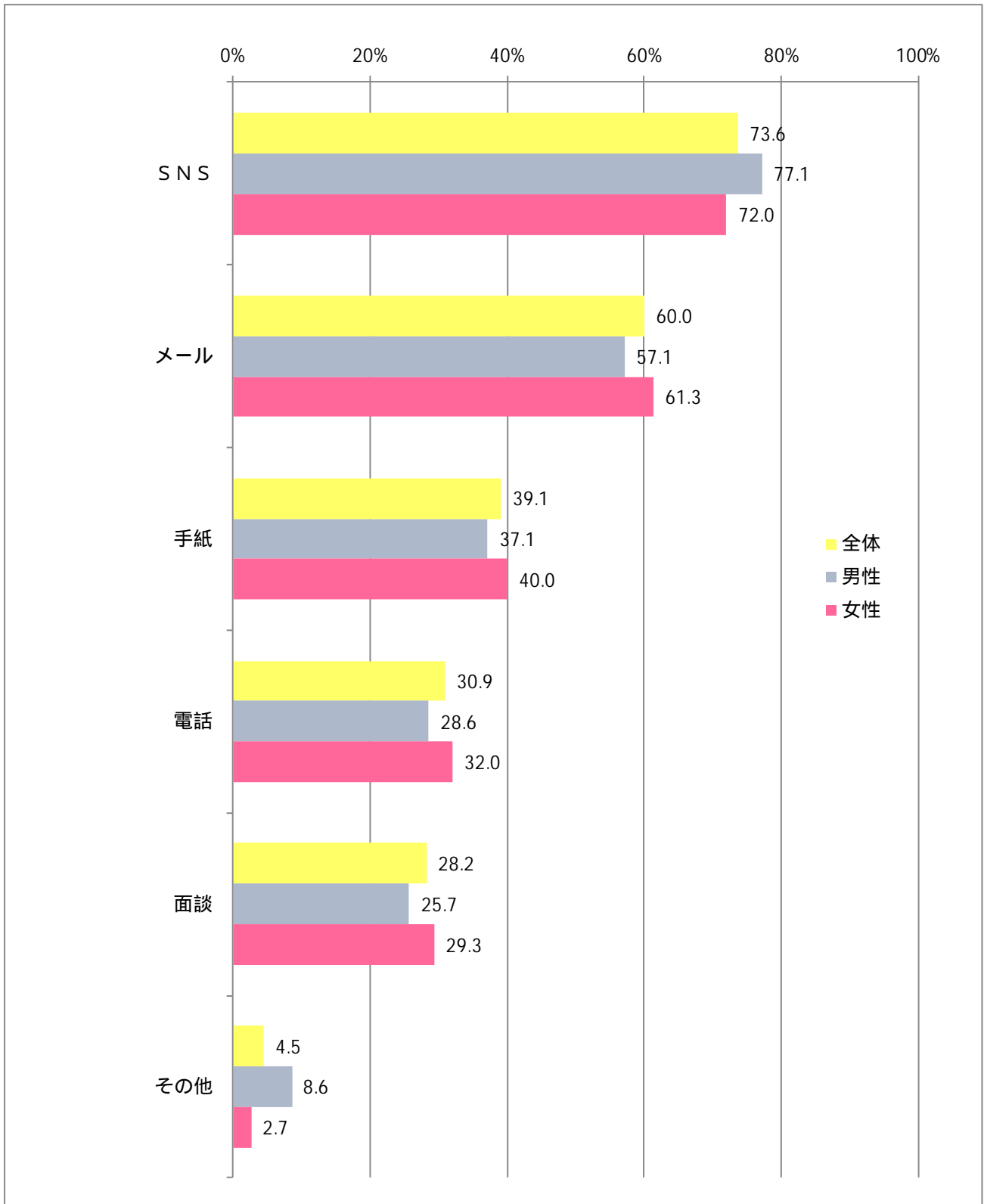
質問5 法務局に人権相談窓口があることを知っていましたか。



上段：人数 下段：%		全 体	知 っ て い た	知 ら な か っ た	
全体	110	100.0	33	77	
性別	男性	35	100.0	15	20
	女性	75	100.0	18	57
年齢	12～14歳	7	100.0	1	6
	15～19歳	34	100.0	8	26
	20～24歳	45	100.0	15	30
	25～29歳	24	100.0	9	15
性別×年齢	男性-12～14歳	1	100.0	1	-
	男性-15～19歳	10	100.0	3	7
	男性-20～24歳	12	100.0	6	6
	男性-25～29歳	12	100.0	5	7
	女性-12～14歳	6	100.0	-	6
	女性-15～19歳	24	100.0	5	19
	女性-20～24歳	33	100.0	9	24
	女性-25～29歳	12	100.0	4	8
属性	中学生	10	100.0	2	8
	高校生	24	100.0	5	19
	専門学校・短大などの学生	1	100.0	-	1
	大学生・大学院生	45	100.0	14	31
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	6	100.0	4	2
	正社員・正職員	22	100.0	8	14
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2	100.0	-	2
	無業者	-	-	-	-
		-	-	-	-

全体で見ると、30.0%が「知っている」、70.0%が「知らなかった」と回答した。
 年代別で見ると、年代が上がるにつれて、「知っている」と回答した割合が高くなる傾向があった。
 男女別で見ると、男性の方が女性より「知っている」と回答した割合が高かった。

質問 6 - 1 小学生・中学生が悩みごとを相談するとしたら，どのようなツールによる相談が利用しやすいと思いますか。



19 平成 30 年度 第 5 回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全 体	S N S	メ ー ル	手 紙	電 話	面 談	そ の 他
全体		110 100.0	81 73.6	66 60.0	43 39.1	34 30.9	31 28.2	5 4.5
性別	男性	35 100.0	27 77.1	20 57.1	13 37.1	10 28.6	9 25.7	3 8.6
	女性	75 100.0	54 72.0	46 61.3	30 40.0	24 32.0	22 29.3	2 2.7
年齢	12～14歳	7 100.0	5 71.4	6 85.7	5 71.4	2 28.6	2 28.6	1 14.3
	15～19歳	34 100.0	26 76.5	20 58.8	14 41.2	9 26.5	8 23.5	-
	20～24歳	45 100.0	34 75.6	26 57.8	16 35.6	17 37.8	15 33.3	1 2.2
	25～29歳	24 100.0	16 66.7	14 58.3	8 33.3	6 25.0	6 25.0	3 12.5
性別×年齢	男性-12～14歳	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
	男性-15～19歳	10 100.0	8 80.0	7 70.0	6 60.0	2 20.0	2 20.0	-
	男性-20～24歳	12 100.0	8 66.7	7 58.3	2 16.7	4 33.3	4 33.3	1 8.3
	男性-25～29歳	12 100.0	10 83.3	6 50.0	5 41.7	4 33.3	3 25.0	2 16.7
	女性-12～14歳	6 100.0	4 66.7	6 100.0	5 83.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7
	女性-15～19歳	24 100.0	18 75.0	13 54.2	8 33.3	7 29.2	6 25.0	-
	女性-20～24歳	33 100.0	26 78.8	19 57.6	14 42.4	13 39.4	11 33.3	-
	女性-25～29歳	12 100.0	6 50.0	8 66.7	3 25.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3
属性	中学生	10 100.0	7 70.0	9 90.0	6 60.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0
	高校生	24 100.0	20 83.3	14 58.3	10 41.7	4 16.7	4 16.7	-
	専門学校・短大などの学生	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
	大学生・大学院生	45 100.0	34 75.6	26 57.8	16 35.6	13 28.9	13 28.9	1 2.2
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	6 100.0	3 50.0	4 66.7	3 50.0	2 33.3	1 16.7	-
	正社員・正職員	22 100.0	15 68.2	12 54.5	8 36.4	11 50.0	9 40.9	3 13.6
	専業主婦（夫）、家事手伝い	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-
	無業者	-	-	-	-	-	-	-

複数回答有り：回答数 260

全体で見ると、「SNS」と回答した割合が73.6%と最も高く、次いで「メール」が60.0%、「手紙」が39.1%の順となった。

年代別で見ると、「15～29歳」は「SNS」と回答した割合が最も高く、「12～14歳」は「メール」と回答した割合が最も高かった。

男女別で見ても、「SNS」と回答した割合が最も高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

- ① スマートフォンが普及しているため、LINE などもっと手軽な相談ツールがあると使いやすいと思う。
(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- ② ツールというより、普段遊んでいる施設(児童館や青少年センターなど)にいるスタッフが、ユーザーとして遊びながら、グチの中から、相談にならない声を聞くのがあわせて必要。また、ゲームの対戦相手やゲームアプリ等のチャットの相手が、相談職の人というのもいいかもしれない。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- ③ アプリ(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- ④ オンラインチャット(法務省 HP 等にアクセス窓口を作り、アクセスされたら即対応)(男性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- ⑤ 学校のカウンセラー(女性 / 14 歳 / 中学生)

質問 6 - 2 上記を選択した理由を教えてください。

電話

- ① フリーダイヤルができるのであれば、電話が一番いいと思う。公衆電話でも受話器をあげたらすぐにかかけられるように。また携帯電話でも通話可能にしてほしい。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- ② メールや面談は悩み事を相談する段階に入るまでの手間が多いため、電話や SNS の方がレスポンスを早く得られることができる。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- ③ どれかを選べるなら相談しやすいと思う。(女性 / 15 歳 / 中学生)
- ④ 小学生は携帯電話などを持っていない児童も多そうなので、手紙や電話という手段は残しながらも SNS やメールで相談が可能であれば、より相談が気軽にできそうだと思うから。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- ⑤ 子どもスマートフォン、携帯を持っているから。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)

メール

- ① やっぱり匿名で気軽に相談できる方法のほうが、ハードルが低くていいと思うから。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- ② 身近なものだから。(女性 / 26 歳 / 大学生・大学院生)
- ③ それぞれ相談しやすいものは違うと思うため。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- ④ SNS やメールが主流だから。(男性 / 16 歳 / 高校生)

面談

- ① 最近は多くなってきたけどまだ携帯を持っている小・中学生は少ないし、面談であれば会いに行ける範囲の大人、つまり周りの大人に相談することになるので、困ったことがあればすぐに頼ることができるし、対応も早いと思うから。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- ② 嫌がらせに遭う人は、「自ら話す」「自分から行動する」こと自体に恐怖を感じていると思うので、表情を見ながらヒアリングをかけたほうが良いと思うから。また、顔が見えない場では、能動的に本心を話すことが難しいと思うから。(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- ③ 顔を見せて、「本気でなんとかしたい」という気持ちを知らせてあげた方がいいと思うから。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

手紙

- ① 手紙はその紙が小・中学生の手元にある限りでは、ダイレクトに発信ができると考えるからです。(男性 / 18 歳 / 高校生)
- ② 実際に誰かと会う面談は、場所や時間の問題から難しいと考えられる。相手を信頼できるかという不安もある。電話は、たいていの場合自宅の固定電話を利用することになると考えられるが、家族の目があるだろう。家族を気にせずに相談できることであれば、そもそも外部の相談窓口は必要にならない。従って、消去法的に選択した。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)

- z 電話よりも文章の方が抵抗が少なく感じる傾向がある。手紙は学校機関が窓口となって送料を負担できる連絡体制があると良いと感じた。一方で即答性が有効なケースもあるため、電話の選択肢も必要である。(男性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)

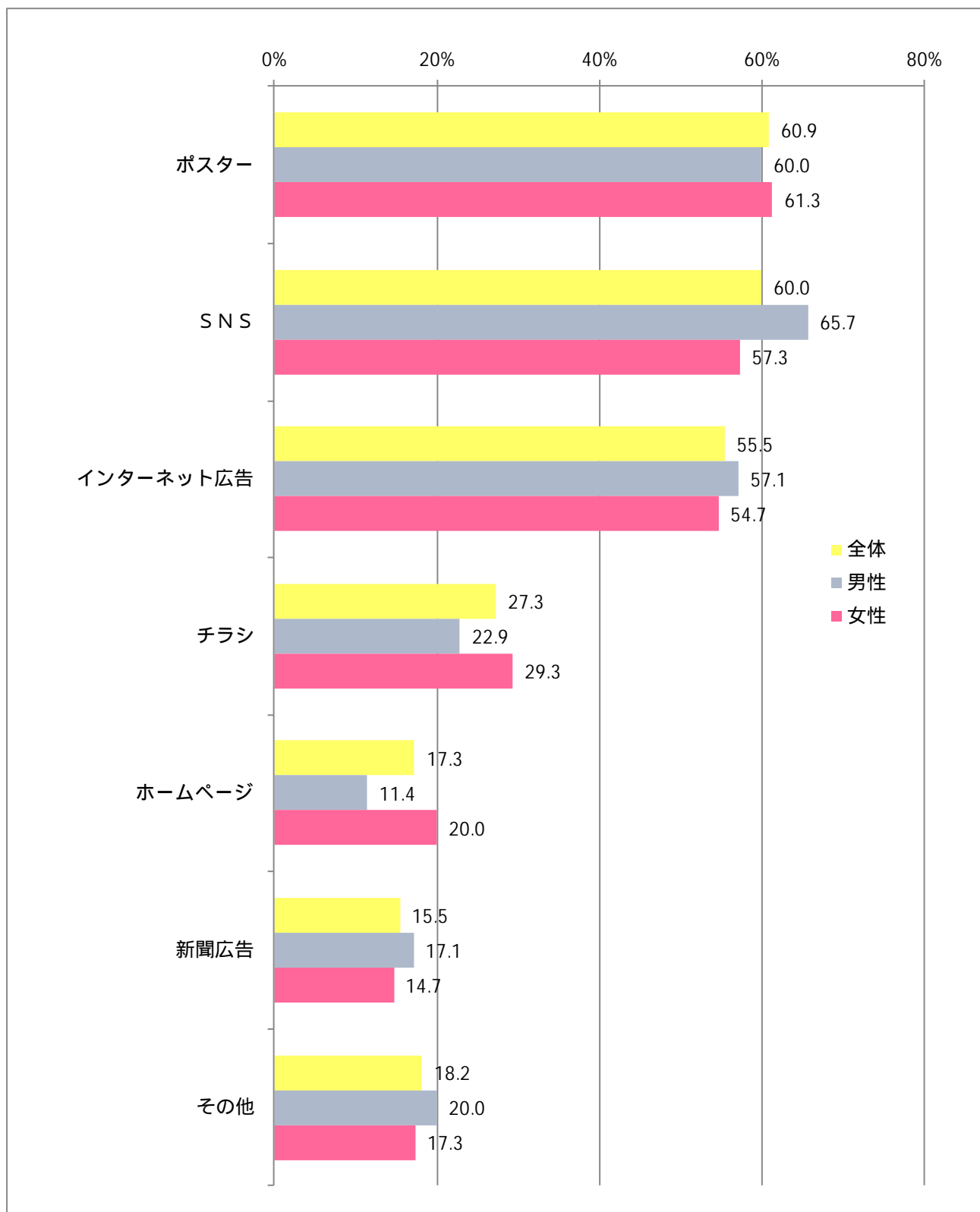
SNS

- z 小・中学生が一番使うツールだと思ったから。(男性 / 26 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z SNS ならたくさんの人が使っているから。(男性 / 14 歳 / 中学生)
- z 面談のように知らない人と顔をあわせて話すのはハードルが高く、相談しに行くための移動も子供の負担になるのではないかと思うから。またメールや手紙、電話では自分の住所や電話番号などの個人情報を教えなければならない場合もあり、周りの人に知られるかもしれないと怖く感じることもあるのではないかと思うから。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 最近の子供たちは SNS を活用しているから。1 番身近に声を上げやすいと思うから(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 最近 SNS を利用する子供がとても増えていて、普段使っている SNS なら気軽に悩みを相談できると思うから。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

その他

- z スマートフォンが普及しているため、LINE などもっと手軽な相談ツールがあると使いやすいと思う。(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

質問 7 小学生・中学生に対して、法務局に人権相談窓口があることを広く知らせるためには、どのような方法が有効であると思いますか。



上段：人数 下段：%		全 体	ポ ス タ ー	S N S	イ ン タ ー ネ ッ ト 広 告	チ ラ シ	ホ ー ム ペ ー ジ	新 聞 広 告	そ の 他
全体		110 100.0	67 60.9	66 60.0	61 55.5	30 27.3	19 17.3	17 15.5	20 18.2
性別	男性	35 100.0	21 60.0	23 65.7	20 57.1	8 22.9	4 11.4	6 17.1	7 20.0
	女性	75 100.0	46 61.3	43 57.3	41 54.7	22 29.3	15 20.0	11 14.7	13 17.3
年齢	12～14歳	7 100.0	4 57.1	3 42.9	5 71.4	2 28.6	3 42.9	1 14.3	1 14.3
	15～19歳	34 100.0	23 67.6	23 67.6	16 47.1	13 38.2	9 26.5	8 23.5	5 14.7
	20～24歳	45 100.0	26 57.8	26 57.8	27 60.0	12 26.7	6 13.3	8 17.8	9 20.0
	25～29歳	24 100.0	14 58.3	14 58.3	13 54.2	3 12.5	1 4.2	-	5 20.8
性別×年齢	男性-12～14歳	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	男性-15～19歳	10 100.0	9 90.0	8 80.0	5 50.0	4 40.0	3 30.0	4 40.0	-
	男性-20～24歳	12 100.0	6 50.0	8 66.7	9 75.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	3 25.0
	男性-25～29歳	12 100.0	6 50.0	6 50.0	5 41.7	2 16.7	-	-	4 33.3
	女性-12～14歳	6 100.0	4 66.7	2 33.3	4 66.7	2 33.3	3 50.0	1 16.7	1 16.7
	女性-15～19歳	24 100.0	14 58.3	15 62.5	11 45.8	9 37.5	6 25.0	4 16.7	5 20.8
	女性-20～24歳	33 100.0	20 60.6	18 54.5	18 54.5	10 30.3	5 15.2	6 18.2	6 18.2
	女性-25～29歳	12 100.0	8 66.7	8 66.7	8 66.7	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3
属性	中学生	10 100.0	6 60.0	5 50.0	6 60.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0	2 20.0
	高校生	24 100.0	15 62.5	17 70.8	12 50.0	6 25.0	3 12.5	4 16.7	1 4.2
	専門学校・短大などの学生	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	大学生・大学院生	45 100.0	26 57.8	27 60.0	23 51.1	14 31.1	8 17.8	8 17.8	9 20.0
	パート・アルバイト・派遣社員・ 契約社員	6 100.0	6 100.0	2 33.3	4 66.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3
	正社員・正職員	22 100.0	12 54.5	12 54.5	14 63.6	4 18.2	3 13.6	2 9.1	6 27.3
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-
	無業者	-	-	-	-	-	-	-	-

複数回答有り：回答数 280

全体で見ると、「ポスター」と回答した割合が60.9%と最も高く、次いで「SNS」が60.0%、「インターネット広告」が55.5%の順となった。

年代別で見ると、「12～14歳」「20～24歳」では「インターネット広告」が、「15～19歳」「25～29歳」では「ポスター」と「SNS」が最も高くなっている。

男女別で見ると、男性は「SNS」、女性は「ポスター」と回答した割合が最も高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

- z クチコミ。現代は情報が溢れすぎているので、口頭ベースでないと伝わりづらそう。(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z 代表的な被害例を 3 つぐらいと、解決例も 3 つぐらいを書いたチラシを配布してください。(女性 / 15 歳 / 中学生)
- z 小・中学生は貼り紙、ポスターはあまり読んでいない。配布されるチラシも素通りしてしまい、無駄が多い。教科となった道徳教育の中に必ず毎年紹介を入れるのはどうでしょうか。例えば、毎学期少し触れるだけでも、意識付けになると思います。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 学校で先生が伝えること。(女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- z テレビ広告。本当に周知する気があるのであれば、アニメに合わせるのがよい。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z まず「人権相談」が固いので、名称を変えればよいと思う。(女性 / 24 歳 / 大学生・大学院生)